

## ～市と大学が一体となった地域貢献人材の育成～ 國學院大學栃木短大で栃木市職員が講義します

### 1 概要

- 栃木市と國學院大學栃木短期大学が締結した「包括連携協定事業」の一環として、市職員が学生を対象に栃木市の教育や歴史文化について講義を行う。
- 大学側にとっては身近な教材を生かした学習の充実を図ることができ、市側にとっても県内外から多くの学生を集める大学において、栃木市への興味・関心を高める‘教育や歴史文化’を紹介する機会を得て、文教都市‘栃木市’をPRすることができる。
- 市（行政）と大学が一体となって、地域貢献できる人材を育てることを目標とした有意義な取組である。

### 2 講義日時及び題目等

- (1) 平成 29 年 6 月 13 日（火）14：30～16：00  
日本文化概説「栃木市の歴史と文化」 対象：1 年生（142 名）
- (2) 平成 29 年 6 月 20 日（火）12：50～14：20  
人間教育概説「栃木市教育の特色と未来像」 対象：1 年生（93 名）

### 3 講義内容

- (1) 「栃木市の歴史と文化」 講師：栃木市文化課職員
  - 市内の代表的な遺跡・文化財について
    - ・現在、市内にある 6 つの国指定文化財をはじめとした 300 余りの指定文化財について説明する。
      - 例) 星野遺跡（旧石器時代）七廻り鏡塚古墳、吾妻古墳（古墳時代）下野国庁跡（奈良平安時代）
  - 栃木市と國學院大學栃木短期大学との繋がり
    - ・市と國學院短大が協力して発掘調査を紹介する。〔中根八幡遺跡（縄文時代）〕

#### ねらい

文化財が多く残る栃木市に、専門学科を持つ高等教育機関があることは、調査研究の土壌が整っており、共同調査も進めている。

また、卒業生の中にも文化財関係機関等で働いている方も多いことから、この講義をきっかけに更に「歴史好き」になってもらいたい。

(2)「栃木市教育の特色と未来像」 講師：栃木市保育課職員・教育総務課職員

【保育課職員より】

- 「栃木市子ども・子育て支援事業計画」に基づく幼児教育・保育の実施について
  - ・計画の背景及び理念「生み育ち 輝く親子 地域づくり」を説明する。
  - ・基本施策1「幼児期における学校教育・保育の充実」について、幼児教育及び保育のニーズに対する実施施設の確保を図る取組を紹介する。
  - ・基本施策2「地域における子育て・子育ての支援」について、多様な保育ニーズへの対応や幼保小連携による一貫性のある教育等の取組を紹介する。

【教育総務課より】

- 「栃木市教育計画」と「とちぎ未来アシストネット」について
  - ・計画の基本理念やスローガン「ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり」を説明する。
  - ・‘学校・家庭・地域の連携協働’を図る本市独自の教育システム「とちぎ未来アシストネット」の説明を行い、その実績を通じた効果についての考察を言及する。
- 「栃木市コミュニティ・スクール&小中一貫教育」について
  - ・平成29年度から市内公立全小中学校で取り組んでいる「コミュニティ・スクール」と「小中一貫教育」について説明を行い、本市が考える‘中学校区を単位とした地域とともにある教育のあり方’について、その展望を言及する。

**ねらい**

栃木市教育の特色は、幼稚園保育園から小中学校の義務教育まで‘子どもたちが安心して学べるような一貫性のある教育’を推進していること、またその教育を‘保護者や地域とともに’展開しようとしていることであり、そのよさを将来教育関係の仕事を志望する学生に理解してもらいたい。

問合せ 教育部 教育総務課 担当：木村 電話：0282-21-2467